



OMI CHIROBAKAI

社会福祉法人 近江ちいろば会

ふれあいの家 おしどり

おしどり ふれあいだより

news-fureai-202203

第 137 号

(2022 年 4 月号)

〒520-3244 湖南市サイドタウン 3 丁目 15-18

TEL (0748) 74-0005 /FAX 74-0403

E-mail oshidori@chiiroba.jp

動くからだ、躍るころろ!



さあ始めよう! '活' せいかわ?

【総合事業】ふれあいの家おしどりニュース (毎週火・金曜日 ふれあい楽舎にて活動中)

2022 年度のスタートです!

新年度を迎えました。昨年度はコロナ禍でも、火曜日・金曜日を利用されているみなさん体調を崩されることなく、お元気に過ごされました。さらに新年度の始まりとともに過去最多の 17 名の方がご利用されるようになりました。感染対策を万全におこなった上で、ひとり一人の希望やニーズに応えながら会話や笑顔があふれる活動をおこなって行きたいです! 2022 年度も“動くからだ、躍るころろ!”を目標に!

楽しく体を動かすことで。。



お出かけウォーキング

数分のドライブ後、桜の綺麗な公園へ!「行ったことのない所に行けて嬉しかった!」(Yさん)



ポッチャ対抗戦

「みんなで、どこに投げる?とかいろいろしゃべりながらできる。これは楽しい!」(Kさん)



心も躍ってくる!

セラバンド筋力体操

「ひとりではなかなかできない。みんなと一緒にやからできるんや!これからも続けて行きたいです!」(Sさん)



特技を活かして

手話辞典で、前回の“手話講座”のおさらい。Sさんの勉強熱心さには頭が下がります。



心が躍り出すと。。



作る楽しさ、食べる喜び

出来上がりを心待ちに一緒に作って行く楽しさがあります!



体も自然に動いて来る!



地域のふれあい活動より

おしどりでは、地域の方が安心して集える場を目指し、地域で元気に過ごせるように様々な催しをおこなっています。

“風”の賜物

先日、おしどりから離れて他施設に応援に行ける機会がありました。全国的にコロナが感染拡大する中でその施設でも感染対策が強化され、“ウイルスを外部から持ち込まない”姿勢が徹底された状況でした。外からの来客が途絶える日々が続く、人の出入りが無い環境はやはり閉塞感を抱き雰囲気の高さを感じずにはいられません。今まで当たり前だった来訪者のありがたさを痛感できる体験となりました。

日頃からよく介護施設は閉鎖的な場所のように周囲から思われがちです。おしどりなどの通所施設であるデイサービス（以下デイ）も例外ではありません。要介護認定を受けた主に65歳以上の方は、ドアツードアで送迎車に乗り込み、同世代の方々が集うデイへ通われ一日を過ごされます。そして夕方になるとまた自宅玄関で送迎車を降りて帰って行かれます。毎日同世代の人と顔を合わせ、馴染みの者同士話も合うので、心も体も元気になって行かれます。しかし、今までずっといろいろな人と活動されてきた高齢者の方たちにとって、デイでの活動は交流の幅がどうしても狭くなってしまっています（介護保険制度の限界であり制度の課題の一つでは？と考えます）。



そういった日々の中で過ごしていると、外から来られる方たちの存在はかけがえのないものとなります。よく介護現場では「外からの風を吹き入れてもらえる」と表現されますが、ボランティアさんの来訪や地域の方の気軽な訪問は本当にありがたいことです。おしどりはボランティアさんによって始まった経緯があり、たくさんのボランティアさんから恵みをいただいています。また、ふれあい活動を通して多くの地域の方が気軽に寄って下さいます。コロナ禍の現在、以前のような交流が難しくなっていますが、今回の他施設での体験から、おしどりに集って下さるボランティアさんの“風”に改めて感謝の気持ちでいっぱいになりました。コロナ収束の折にはまたたくさんのボランティアさんの来訪をお待ちしています！

おしどり 4コマ劇場 第108話 手洗い



☺たしかにこの時季の水は冷たい・・・!

おしどりふれあいだよりは、法人のホームページにも掲載しています。また、ふれあいの家の日々の活動もブログに掲載しています。

ぜひご覧ください。

近江ちいろば会

検索